

第2回 LCV「諏訪圏情報 BOX」

- **放送日** 令和5年6月27日(火)、7月4日(火)
- **テーマ** 「諏訪湖創生ビジョン」に基づく手作業によるヒシの除去作業について
- **出演者** 諏訪地域振興局 環境課 宮坂 真司

- 聞き手とのやりとり(概要)

(Q1) 「諏訪湖創生ビジョン」とは何でしょうか？

(A1) 1960年代ころ、諏訪湖ではアオコが異常発生するなど、水質汚濁が課題となっていました。そのため、下水道の整備など、水質改善のための取組が行われた結果、諏訪湖の水質は大きく改善しました。

ところが、近年はアオコに代わってヒシという水草が大量繁茂したり、水中の酸素が少なくなるなど、新たな課題が生じています。そんな中、諏訪湖を活かした観光振興や利活用求められています。

そこで、水質保全だけでなく、水生生物や水辺整備、更にまちづくりなどの視点も含めた、諏訪湖全体としての将来像が見えるビジョンとして策定されたのが「諏訪湖創生ビジョン」です。

(Q2) 確かに、夏になると諏訪湖にたくさんの水草が生えているのを見かけますね。あれがヒシなんですね。ヒシがたくさん生えると問題があるのでしょうか。

(A2) ヒシが大量に生えると、水の流れが悪くなったり、枯れて腐ったりして、酸素が不足する原因となります。また、船の運航に支障が出たり、景観を損ねたりする、マイナスの影響もあります。一方で、ヒシの繁茂場所が魚の産卵場所となったり、窒素やりんをヒシが吸収することで水質改善に貢献するなど、プラスの影響もあります。

(Q3) いろいろな影響があるんですね。この諏訪湖創生ビジョンに基づく取組としてヒシの除去をされているということですが、どのような効果があるのですか？

(A3) ヒシは窒素やりんを吸収して水をきれいにしますが、そのままにしておくと枯れて腐って水を汚します。そこで、刈取などによりヒシを湖の外に持っていくことで、水質改善につなげることができます。諏訪湖創生ビジョンでは、重点的にヒシを除去するエリアを定め、機械や手作業での除去を行っています。

(Q4) 機械だけでなく、手作業でもヒシを取っているんですね。

(A4) はい。機械での刈取の方がたくさん取ることができますが、浅瀬には機械が入れないため、手作業での除去を行っています。また、手作業での除去は、参加していただいた方に諏訪湖の現状について知っていただく機会にもなっています。作業の前には、諏訪湖の水草について学ぶ「水草学習会」や諏訪湖に生息するエビの放流体験も行っています。

(Q5) 諏訪湖のためになる活動というだけでなく、とても楽しそうな体験ですね。それでは、今年度の予定を教えてくださいてもよろしいでしょうか？

(A5) はい。今年度の手作業でのヒシ除去作業は、7月6日（木）から7月8日（土）の3日間行います。時間は午前9時から午前11時45分ごろを予定しています。参加を希望される方は、8時50分までに諏訪湖ヨットハーバーにお集まりください。

(Q6) 申込は必要なのでしょうか？

(A6) はい。6月16日のプレスリリースにお申し込みの様式がございますので、必要事項をご記入の上、メール又はFAXにて6月28日（水）までにお申し込みください。

(Q7) では最後に、お聞きの皆さまへ一言ありましたらお願いします。

(A7) 諏訪湖創生ビジョンは昨年度5年目の節目の年を迎え、取組内容などの見直しを行ったところです。皆様からいただいたご意見を踏まえ、5年後にはヒシの除去量倍増を目指すこととなりました。今回のヒシ除去作業が、皆様に諏訪湖やヒシについて考えていただくきっかけとなり、よりよい諏訪湖の実現につながれば大変うれしいです。皆様のご参加をお待ちしております。